

令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生拠点整備タイプ)事業における効果検証

1. デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生拠点整備タイプ）

デジタル田園都市国家構想を推進するため、デジタルの活用などによる観光や農林水産業の振興等の地方創生に資する取組を支援することを目的に、国が交付するもの。

2. 対象事業

(1) 名 称

広域連携拠点施設（熱利用施設）整備事業

(2) 事業費（補助率：1／2）

64,900 千円（うち、交付対象事業費 64,898 千円）

【交付対象事業費の内訳】笠岡市：21,605 千円、井原市：16,912 千円、浅口市：15,699 千円、里庄町：5,153 千円、矢掛町 5,529 千円）

(3) 事業概要

岡山県笠岡市、井原市、浅口市、里庄町及び矢掛町が岡山県西部衛生施設組合の広域連携拠点施設（熱利用施設）を整備し、3市2町が人口減少や高齢化率の高まりによって抱える4つの課題（健康寿命の延伸、新たなコミュニティの形成、交流人口の拡大、学校施設の老朽化と水泳授業における課題）を解決し、地域の魅力を高める。自治体の枠を越えた新たなコミュニティの形成や住民間の交流を活発化することで地方創生として目指す「生涯活躍のまち」を実現し、圏域への人の流れを創出する。

(4) 事業実績

本事業は、岡山県西部衛生施設組合が「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（PFI法）」に準じて設計・施工・維持管理・運営業務一括発注方式（DBO方式）により実施している。令和6年度は、本事業の事業者である特別目的会社「ホシノWA株式会社」が、施設整備計画の初年度として当該施設の基本設計及び実施設計を行った。

また、施設整備に関する周辺住民への説明会を開催し、当該施設の利用促進に向けた機運醸成にもつなげることができた。

(5) 重要業績評価指標（KPI） ※数値は、前年度比による増減を示しております。

	事業開始前 令和5年度	令和6年度 (1年目)	令和7年度 (2年目)	令和8年度 (3年目)	令和9年度 (4年目)	令和10年度 (5年目)	令和11年度 (6年目)	令和12年度 (7年目)
3市2町のUIJターン者数【人】	525	(目標) 5	(目標) 6	(目標) 19	(目標) 21	(目標) 21	(目標) 21	(目標) 21
		(実績) △88	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
3市2町における健活宣言企業数【社】	160	(目標) 4	(目標) 2	(目標) 5	(目標) 5	(目標) 4	(目標) 5	(目標) 4
		(実績) 16	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
圏域内観光拠点(笠岡市及び矢掛町の道の駅)の入込客数【千人】	918	(目標) 7	(目標) 14	(目標) 14	(目標) 24	(目標) 23	(目標) 20	(目標) 19
		(実績) △72	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
本施設の年間利用者数【百人】	0	(目標) 0	(目標) 0	(目標) 210	(目標) 702	(目標) 115	(目標) 57	(目標) 57
		(実績) 0	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)

3. 実績値（令和6年度）の評価…地方創生に相当程度効果があつた

設計協議においては、施設整備計画の実現に向け、利用者動線の向上やライフサイクルコストの低減が図られる施設となるよう検討を重ねた。また、交流広場や足湯スペースの配置を見直し、交流人口の拡大が図られる平面計画に変更することで、敷地の有効活用を図ることとした。令和6年度は事業の本格実施期ではないことから、交流人口及び定住人口への大きな影響がみられず、KPI①については達成に至っていない。健活宣言企業数については、継続して登録企業数を増やせるよう効果的なPRを行う。

4. 浅口市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会（外部有識者等）からの評価

- ・KPI 数値指標について、記載が見にくく（対前年度比であるならば、一目でそれが分かるような設定方法、記載方法であった方がいい）、指標がどのように効果と直結しているのか分かりにくい。
- ・学校施設の老朽化と水泳授業に関する課題について、本施設を授業で使用するのであれば、交通手段の確保や一般利用者との兼ね合いも含めて、運営方針やカリキュラムを検討する必要がある。

5. 今後の方針

引き続き、本事業による施設整備計画を計画通り進めるとともに、関連事業や施設のPRを行うことにより、KPIの達成を目指す。